



2026年 3月15日 第183号
NPO 法人町田市学童保育クラブの会
所在地 町田市中町 1-19-5
大貫ビル 202
電話 042-794-7235
広報担当 発行

第6期中期計画（2024～2026年度）の進捗状況

当法人では、社会の変化に対応しながら、子どもと保護者を支える学童保育の充実を目指して、第6期中期計画を進めています。2年目となる本年度の主な取り組みを報告いたします。

目標1 子どもへの支援のあり方を見直す

- ・支援員も子どもの権利について学習会を実施し理解を深め、『町田市子どもにやさしいまち条例』等を活用し、子どもたちへ伝える機会を設けました。
- ・全クラブ合同行事を、今年度は地区ごとに対面で実施しました。高学年児童がオンラインで会議を開催し準備を進め、当日の司会進行も自分たちで行うなど、主体的な活動が広がりました。
- ・2026年度に鶴川学童保育クラブと鶴川第四学童保育クラブが統合され鶴川中央学童保育クラブになるため、子どもたちが安心して過ごせるよう町田市との協議や統合先との交流を進めています。

目標2 保護者への支援のあり方を見直す

- ・保護者会との共催行事や保護者会後の茶話会、保育参加などを実施し、保護者同士がつながりやすい環境づくりを進めました。
- ・入退室管理システムを活用したおたよりのデータ配信を開始し、保護者へ子どもたちの様子などを速やかに届けられるようにしました。

目標3 町田の学童保育・子育て支援事業の充実を図る

- ・子育て支援事業『ぷちくれよんひろば』 公式ラインの登録数が増加しました。また、そよかぜ学童保育クラブから高ヶ坂けやき学童保育クラブへ会場を変更し、活動を継続しました。
- ・子どもの居場所事業『ロケットキッズ』 昨年度より参加者が増加したことに加え、今年度からは学童保育クラブ在籍児童の友人も対象にしました。
- ・『保護者と職員の学習会』 鈴木由香先生による『絵本×価値観発見 価値観から見えてくる自分らしい子育てとは？』をテーマに町田市民ホールにて学習会を開催し、保護者以外の方の参加がありました。

目標4 法人の質的強化を勧める

- ・衛生管理マニュアル、事故対応マニュアル、緊急時対応マニュアルを改定しました。
- ・メンター制度については、2026年度の導入に向け制度や規程を整えました。

今後も子どもたちの声に寄り添い、保護者の方や地域から信頼される安心な学童保育を目指していきます。

正会員・賛助会員募集

会員を募集しております。当法人にご賛同いただける方は、法人事務局までご連絡ください。

個人正会員 ー□ 3000円以上

個人賛助会員 ー□ 1000円

問い合わせ先：042-794-7235（法人事務局）

目次

- 1面：第6期中期計画（2024～2026年度）の進捗状況
- 2面：ぷちくれよんひろば/支援金の取り組み/新任職員紹介
- 3面：12クラブ合同行事
- 4面：連載企画『12クラブのあそび大集合！』

ぷちくれよんひろば



当法人では5ヶ所の学童保育クラブ施設を開放し、地域の乳幼児と保護者の方が一緒に過ごせる居場所として、子育て支援事業『ぷちくれよんひろば』を行っています。月1~3回程度(4・8月を除く)の開催を基本としており、開放日には、室内のおもちゃなどで自由に遊ぶことができます。企画日には、誕生会と季節の工作や触れ合いあそびなどを行っています。今年度の企画の『夏まつりをしよう』では折り紙をちぎって向日葵のうちわを作ったり、屋台ボーリングをしたりしました。『ハロウィン制作』ではかぼちゃのリースにシールで模様をつけ、『お正月制作』ではしめ縄制作、他にもリズムあそびや公園散策などを行いました。ぷちくれよんひろばをきっかけに知り合い、保護者同士の交流の場になっています。詳しくは法人HP内のぷちくれよんひろばのページをご覧ください。また、公式LINEアカウントで毎月室内開放や企画情報を配信しています。詳しい内容を知りたい方は、ぜひご登録をお願いします。



公式LINE



法人HP

※赤字：企画日

【2026年度ぷちくれよんひろば開催予定】

4月	開催なし	8月	開催なし	12月	企画『クリスマス制作をしよう』 9日、16日
5月	企画『手形アートをつくってみよう』 13日、20日、27日	9月	企画『リズムあそびを楽しもう』 9日、16日、30日	27年 1月	企画『ふうせんあそびをしよう』 13日、20日、27日
6月	企画『スタンプあそびを楽しもう』 10日、17日、24日	10月	企画『お外で遊ぼう』 14日、21日、28日	2月	企画『折り紙で遊ぼう』 10日、17日
7月	企画『夏まつりをしよう』 8日、15日	11月	企画『おはなし会』 11日、18日、25日	3月	企画『手形アートをつくってみよう Part2』 10日

【開催クラブ】大蔵学童保育クラブ 高ヶ坂けやき学童保育クラブ どんろん子学童保育クラブ

なかよし学童保育クラブ 南大谷学童保育クラブ

【開放時間】 10:30~11:30 (水曜日開催)

震災で被災した学童保育への支援金の取組み



当法人では、全国学童保育連絡協議会を通して、『東日本大震災学童保育募金』『自然災害学童保育支援募金』に協力をしています。この支援募金は、東日本大震災と2020年以降に発生した災害により被災した地域の学童保育を支え、恒久的・緊急的な支援に活用するために設けられました。寄せられた募金は子どもたちや学童保育支援員へのケア等に役立てられます。学童保育クラブを運営する事業者として、この支援募金に協力していきたいと思えます。ご協力いただける方は、事務局、各学童保育クラブにお声掛けください。

新任職員紹介

2月に入職した正規職員をご紹介します。

①マイブームは？ ②好きなあそび・得意なあそび ③意気込み

①K-POPアイドルのミュージックビデオを見ること。カフェ巡り。

②カードゲーム・ドミノ倒し

③支援員として子ども達が安心して過ごせるような場所作りに心を込めて取り組みます。よろしくお願いします。



大蔵学童保育クラブ
伊藤 綾音

～12クラブ合同行事～

1月31日(土)に、4つの地域に分かれドッジボール大会を行いました。12クラブの4年生以上の高学年の子ども達が協力して企画内容を考え、実現することができました。会の最後にはオンラインですべての地域が顔を合わせ、感想を言い合い交流することができました。各地域の様子をご報告いたします。

<わんぱく・つくし野・どろん子・大戸のびっ子の様子>

4つの学童保育クラブ混合の赤・緑・オレンジ・紫のチームに分かれて、総当たり戦のドッジボールをしました。各チームの高学年を中心に、元外野やジャンプボールの担当を決めたら、試合開始です。相手の外野に渡らないようにコート内のこぼれ球を線ギリギリのところでもったり、普段の力を発揮して剛速球を投げたりしていました。仲良くなって一緒に写真に映る様子もあり、学童保育クラブの垣根を越えて交流することができました。



全力で楽しんでうれしかったです。
大戸のびっ子クラブ 3年生女児



すごく楽しかった！
またなかよしクラブのみんな
とドッジボールがしたい！
図師クラブ 2年生男児

<なかよし・図師の様子>

計4試合行い、白熱した試合が行われたとともに楽しく交流することができました。最初は緊張していた子どもたちも、試合を続けていくごとに「投げていいよ」「こっちにボールパスして」と声を掛け合っていました。お弁当のときには、お互いの学童保育クラブで流行しているあそびや本の話で盛り上がり、終わったあとは「いろいろな子と話できた」「新しい友達がたくさん増えた」という感想があり、子どもたちにとって、他の学童保育クラブの子と仲良くなるきっかけとなりました。

<成瀬中央あおぞら・南大谷・高ヶ坂けやきの様子>

南大谷小学校の体育館に集合し、まずはルール説明やラジオ体操、選手宣言を行いました。青、緑、橙の3チームに分かれ自己紹介を行った後は、いよいよドッジボール大会のスタートです。投げられたボールをぱっとキャッチして投げ返す子や、1度もあたらず上手にボールをよける子がたくさんいました。最後は応援席から拍手が起こり、みんなで勝負をたたえ合いました。普段は関われない他の学童保育クラブの子たちと交流でき、嬉しそうな子どもたちでした。



最初はボールがとれなかったけど、最後はボールがとれてうれしかったです。
あおぞらクラブ 3年生女児



いっしょにドッジボールが
できて楽しかったです
鶴川 2年生男児

<鶴川・大蔵・金井の様子>

ドッジボール大会開始直前、円陣を組むチームもあり、気持ちをひとつにする姿がありました。試合が始まるとどの子も一生懸命ボールを取りに行く姿があり白熱した戦いとなっていました。試合の後は、保育室に集合しみんなでお弁当を食べました。3つの学童保育クラブの普段の掛け声をミックスしたオリジナル挨拶に合わせて、元気な「いただきます」が部屋中に響きました。初めての場所や人との交流に最初は緊張していた子どもたちも帰りになると名残惜しそうにしており、充実した1日となりました。



鶴川・大蔵・金井



なかよし・図師



成瀬中央あおぞら・南大谷・
高ヶ坂けやき



わんぱく・つくし野・どろん子・
大戸のびっ子

12クラブのあそび大集合！



今年度の連載企画は『12クラブのあそび大集合！』と題して子どもたちのあそびの様子を紹介していきます。今、学童保育クラブで流行っているあそび（室内あそび・外あそびの様子等）を取り上げ、写真や文章を通して知っていただければと思います。また、支援員の子どものお気に入りだったあそびについても紹介します

わんぱく学童保育クラブ

1月から伝承あそび検定が始まり、自由あそびの時間も練習に励んでいる姿が多くありました。伝承あそびの中で特にお手玉が人気で帰ってきてすぐ「お手玉貸してー」と借りにきて練習している姿が見られます。初めてけん玉・お手玉・こまに触れ興味を持ったり、上級生が見せてくれた技に憧れを抱いたりしながら熱中しています。「昨年よりも上の級・段を目指して頑張る」「目指せ名人三冠」と意気込みながら取り組んでいます。



どろん子学童保育クラブ

『天下』というボールあそびが流行しています。ボールを相手に当て合う、捕り合う、投げ合うことの駆け引きが楽しめる、ドッジボールの個人戦のようなあそびです。ボールに当たるとアウトになり、ボールを取ると、復活することが出来ます。最後まで残った人が『天下』となりゲーム終了です。ルール会議をしながら、異年齢の交流や集団あそびの楽しさを育んでいます



高ヶ坂けやき学童保育クラブ

外あそびが好きな子が多く、リレーやふえおに、サッカー、一輪車などが人気です。室内あそびでは、最近、かまぼこ板のような平たい色とりどりの木のおもちゃで想像力豊かに遊んでいる子が多いです。街のように見立てて、家や車庫、船、タワーなどを協力し合いながら作る姿が見られます。大きなタワーが出来上がった時には「ピサの斜塔みたい」「倒れそうで倒れない」「写真撮って」と盛り上がっています。周りにいた友達も集まってきて応援していました。一種類の木の板から、いろいろな造形物を作って楽しんでいます。



支援員の子どものお気に入りだったあそび紹介

私が小学生だった頃、キックボードが流行し、近所に住んでいる同級生たちと車通りの少ない道を横並びに競争しながら走り続けていました。キックボードといっても今のシルバーのおしゃれなタイプのものではなく、車体が赤、黄、青といった当時の小学生好みのフォルムで、後ろについているレバーを足で踏んで漕ぎます。日が暮れるまで遊んだ楽しい日々が蘇ってきます。素敵な子ども時代の思い出です。